

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年11月2日(2023.11.2)

【公開番号】特開2023-59987(P2023-59987A)

【公開日】令和5年4月27日(2023.4.27)

【年通号数】公開公報(特許)2023-079

【出願番号】特願2023-28577(P2023-28577)

【国際特許分類】

A01N 25/00(2006.01)

10

A01N 37/04(2006.01)

A01N 53/08(2006.01)

A01P 7/04(2006.01)

A01N 37/10(2006.01)

A01N 53/04(2006.01)

A01N 37/08(2006.01)

【F I】

A01N 25/00 101

A01N 37/04

A01N 53/08 110

20

A01P 7/04

A01N 37/10

A01N 53/04 510

A01N 37/08

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月25日(2023.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

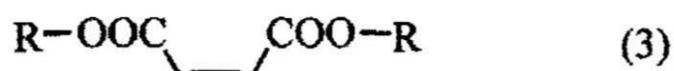
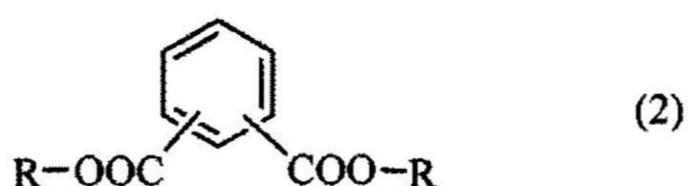
【請求項1】

一般式(1)～(3)

【化1】



40



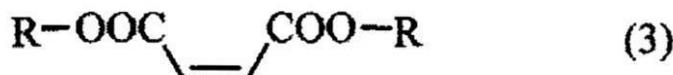
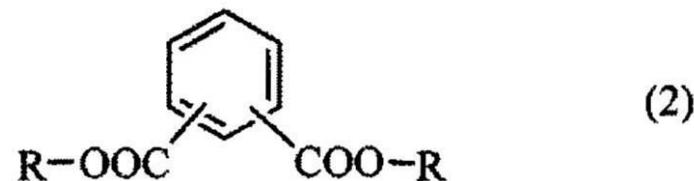
50

〔(1)～(3)式において、Rは炭素数1～8のアルキル基であり、分子中の2つのRは同一でも異なっていてもよい。また、(1)式において、nは0～8の整数である。〕のいずれかで表される少なくとも1種の二塩基酸エステルを含有する、エムペントリン、トランスフルトリン、ペルメトリン、シフェノトリン、およびプロフルトリンからなる群から選択されるピレスロイド系化合物の衣料害虫に対する殺虫効力増強剤。

【請求項2】

エムペントリン、トランスフルトリン、ペルメトリン、シフェノトリン、およびプロフルトリンからなる群から選択されるピレスロイド系化合物と、一般式(1)～(3)

【化2】

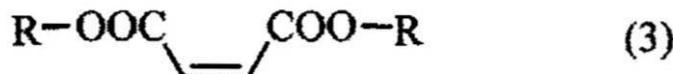
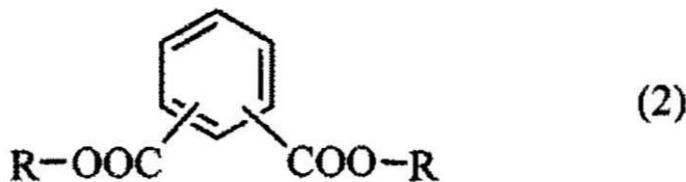


〔(1)～(3)式において、Rは炭素数1～8のアルキル基であり、分子中の2つのRは同一でも異なっていてもよい。また、(1)式において、nは0～8の整数である。〕のいずれかで表される少なくとも1種の二塩基酸エステルとを含有する、衣料害虫防除剤。

【請求項3】

エムペントリン、トランスフルトリン、ペルメトリン、シフェノトリン、およびプロフルトリンからなる群から選択されるピレスロイド系化合物と、一般式(1)～(3)

【化3】



〔(1)～(3)式において、Rは炭素数1～8のアルキル基であり、分子中の2つのRは同一でも異なっていてもよい。また、(1)式において、nは0～8の整数である。〕のいずれかで表される少なくとも1種の二塩基酸エステルとを、衣料害虫に暴露する、衣料害虫防除方法。

【請求項4】

10

20

30

40

50

前記ピレスロイド系化合物が、エムペントリン、トランスフルトリン、シフェノトリン
およびプロフルトリンからなる群から選択される、請求項1～3のいずれか1項に記載
の殺虫効力増強剤、衣料害虫防除剤、または衣料害虫防除方法。

10

20

30

40

50